

エントリー団体 No.11

宇都宮市立城山西小学校

孝子桜まつり実行委員会



児童・OBによる100面の箏の演奏



もちつき



新入生・転入生・卒業生紹介

活動期間

2003年4月～(年1回ほど活動)

構成人数

中学生48名・高校生16名・大人22名

SDGsテーマ

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



推薦メッセージ

平成15年(2003年), 城山西小学校は廃校の危機に直面していました。そんな中, 真っ先に「おらが学校をなくしてはならない。」と立ち上がったのは, 地域の方々でした。以来, 地域と学校, PTA が一体となって, 廃校の危機を脱する取り組みをしてきましたが, その旗印となったのが「孝子桜まつり」でした。学校の真ん中に立ち, 樹齢400年, 市の天然記念物にも指定されている「孝子桜」を中心に, 地域の皆様の熱い思いを込めて開催した手作りのお祭りは, 回を追うごとに発展し, 今では, 古賀志・下福岡地区の最大のイベントとなり, 全国の皆様の交流の場となっています。コロナ禍で三年間中止が続いていますが, 今年こそ再び開催し, 皆様の「笑顔の花」が咲くことを期待しています。

宇都宮市立城山西小学校 校長 市川 文人

活動内容

毎年、4月の第1土曜日・日曜日の二日間に渡り、「孝子桜まつり」を行っています。（最近の三年間は、コロナ禍のため中止。）

オープニングセレモニーでは、新入生や転入生、3月に卒業した新中学1年生が紹介され、満開の孝子桜の前に並ぶ子供たちを、地域・学校・PTAの皆で迎え、送り出します。

続いて、桜吹雪が舞う中、児童・OB等、総勢100名が心を合わせて「桜舞曲」を箏で奏でるという圧巻の演技を披露しています。また、演劇やダンス、和太鼓やよさこい等、地域の方々による様々な催し物が展開され、お祭りを大いに盛り上げてくださっています。

会場では、所せましと地域農産物の直売所や数多くの出店が軒を連ね、来場者に喜んでいただいています。また、古賀志・下福岡地区は、桜の名所が点在していて、地元の方々が丁寧に地域案内をされていて、温かな交流が広がっています。



孝子桜のライトアップ

夜のライトアップされた桜も、見応え十分です。このような地域をあげてのお祭りは、噂が噂を呼び、今では、県内外から約2万人が集い合う「孝子桜まつり」に発展しました。

横浜から来られたあるご婦人は、「娘を亡くした悲しみから立ち直るきっかけとなったのが、十年前に出合ったこの桜でした。だから、毎年、近況報告に訪れています。」と、しみじみと語られておられました。

地域・学校・PTAが一体となって始まったおまつりが、地域の枠を超え、数々のドラマを生み、「心と心をつなぐ」一大イベントとなっています。

01. 活動をはじめたきっかけ

小学校廃校の危機を脱するため PTA が知恵を出し合い取り組んだのが 「孝子桜まつり」のきっかけ。

宇都宮市立城山西小学校の児童数は年々減少の一途をたどり、平成 15 年(2003 年)には児童数 36 人にまで減り、廃校の危機にさらされていました。この廃校の危機を脱するために、地域と学校、PTA が知恵を出し合って取り組んだ最初の事業が「孝子桜まつり」でした。そのねらいは、城山西小学校をアピールすると共に古賀志・下福岡地区の自然の美しさを存分に味わってもらうことでした。

第 1 回「孝子桜まつり」は、平成 15 年 4 月 6 日に行われ、周囲の心配をよそに延べ 3 千人が来場し、大成功を収めました。

以来、毎年 4 月に「孝子桜まつり」を開催し、多くの方々に楽しんでいただいています。

02. 活動から学んだこと・感じたこと

最も強く感じたのは、老若男女を問わず
皆が協力して「孝子桜まつり」を
成功させようとする熱意と温かさです。

学校や地域をアピールするために始めたお祭りですが、スタッフの方々の振る舞いを見ていると、全国津々浦々から来場される方を丁寧な応対や温かな声掛けで迎えていて、その根底には、「おもてなしの心」が息づいているように思います。」

お祭りの成功は、人と人のつながりにあることを教えていただきました。

03. 継続するためのこれからの工夫

高齢化が進んだ事業を受けつぐ 「人材育成」と「継承」。

「孝子桜まつり」を未来につなげていくために欠かせないのは、人材育成と継承です。これまで、地元の方々を中心に活動の土台を築いてきましたが、高齢化が進んでおり、後継者の育成が喫緊の課題となっています。

若い世代を中心とするOBを始め、今まで協力していただいたボランティアの方々を広くスタッフとして募り、地元の方々と「協働」しながら、運営のノウハウやおもてなしの精神を継承していきたいと考えています。

活動の略歴

2003年、第1回「孝子桜まつり」を開催

以来、毎年一回「孝子桜まつり」を開催し、2022年は、第20回「孝子桜まつり」を数える。

この間、2011年「東日本大震災」、2020～2022年「新型コロナウイルス感染症」により、計4回、開催を中止している。